

## Web クライアント 変更点 (Ver4.00R02 → Ver4.00R03)

2003年 7月 29日  
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

- ・Global Webクライアント が Ver 4.00R03 にバージョンアップされました。  
変更点は以下のとおりです。

|         |                             |   |
|---------|-----------------------------|---|
| サーバー    | UNIX版                       | 6.11R00                                       |
|         | WindowsNT版                  | 6.11R00                                       |
| WWWブラウザ | Windows 95/98/NT4.0/2000/XP | Internet Explorer 5.01(5.00.2919.6307)<br>～ 6 |
|         |                             | Netscape Navigator 4.7x 以降/6.2                |

※ [Windows 2000] Internet Explorer 6.0SP1 を推奨します。

### バージョンアップ内容

#### [トップ画面]

掲示板を表示するポートレットを追加しました。

個人オプション画面に掲示板ポートレットの表示／非表示の設定を追加しました。

#### [メール部]

アカウント設定でPOP3のメール受信を設定した場合、メールをGlobalFamily側に  
取り込むようになりました。

POP3/IMAP4メールの送信画面で「高い／普通／低い」から重要度を設定する機  
能を追加しました。

メールの内容表示画面で重要度が「高い」または「低い」に設定されているメール  
はその旨を表示する機能を追加しました。

POP3/IMAP4メールの送信画面で「開封確認を要求する」という設定を追加しまし  
た。(\*1)

POP3/IMAP4メールの一覧画面で Subject の前に重要度を表示する機能を追加  
しました。

POP3/IMAP4メールの一覧画面で表示を「全て／未読／既読」から選択する機能  
を追加しました。

POP3/IMAP4メールの一覧画面で未読と既読のメールの色分け表示を追加しまし  
た。

POP3/IMAP4 のフォルダーを選択中の場合、フォルダー処理メニューに容量確  
認画面を表示する「容量確認」の機能を追加しました。

フォルダーの処理メニューに、個人オプションの仕分けルールに従ってメールの  
仕分けを行う「仕分け」の機能を追加しました。

個人オプション画面にデフォルト値設定として「開封確認を要求する」を追加しま  
した。(\*1)

個人オプション画面に「サブジェクトの先頭に重要度を表示する」の設定を追加し

ました。

個人オプション画面に仕分け設定の項目を追加しました。

個人オプション画面に「新着件数をポップアップ」の設定を追加しました。

メール着信時にメッセージが表示されるメッセージボックスを追加しました。

[ワークフロー部]

インスタンスの参照/編集画面でActiveXを利用しない場合、HTMLの画面で行える機能を追加しました。(\*2)

[フォーラム部]

スレッド表示時に各発言に対してのコメントリンクを追加しました。

## 仕様変更

[メール部]

アカウント設定画面の「外部メール開封時のメール処理」という項目が「POP3メール開封時のメール処理」に変更されました。(\*3)

「POP3メール開封時のメール処理」のオプションが「サーバーから削除する／サーバーに残す／メールフォルダーに移動する」から「サーバーに残す／メールをサーバーからフォルダーに移動する」に変更されました。(\*3)

メール使用禁止ユーザーがメール送信画面の宛先で検索できないように変更されました。

[スケジュール部]

重複禁止のスケジュールコードでの定例スケジュールの登録時、すでにスケジュールが重複している場合、重複している日を除いて登録されるように変更されました。

会議室・施設のスケジュールコードでの終日スケジュールを0:00-翌0:00のスケジュールと同じ扱いで登録できるように変更されました。

## 不具合修正

[メール部]

ヘッダー情報及びメール情報画面で、再ログイン表示処理を行っていなかったところを行うように修正しました。

受信メール参照時の閲覧画面で、宛先にCCが含まれている場合でも[TO]宛先一覧に表示していたところを[CC]宛先一覧に表示するように修正しました。

閲覧画面表示で、ブラウザの×で終了したとき、本文内容を出力したテンポラリファイルが、増殖していた不具合を修正しました。

メール画面表示時に毎回本文内容をメッセージファイルから取得していたところを、既に本文内容を出力しているテンポラリファイルが存在する場合、そのテンポラリファイルから取得するように修正しました。

外部宛のメール送信時に、サーバーの設定で警告又はエラーにする場合はメッセージを表示するように修正しました。

メールヘッダが Content-Type: application/vnd.ms-excel; のようになっている本文無しの添付のみのメールの場合に添付ファイルの抽出に失敗していた不具合を修正しました。

[スケジュール部]

入力必須項目を設定していない会議開催スケジュールを警告を無視して更新しようとする更新ではなく新規登録になる不具合を修正しました。

メール禁止ユーザで会議開催スケジュールに通知メールの設定が画面にある不具合を修正しました。

スケジュールモード、スケジュールコード、グループピンコード、カレンダー管理で"<>&"を名前に含む同名のデータが2つ以上ある場合、名前から参照を行ったときの文字が化ける不具合を修正しました。

スケジュールモード管理で区分の右フィールドに?,-,=を設定したときのエラーメッセージを修正しました。

- 注 \*1 : この項目は通常はオフになっています。オフの場合に画面には表示されません。  
有効にするにはglobal.iniのエントリー[WEBMAIL] Notification=1 をインストール時に設定する必要があります。
- \*2 : 通常はActiveXになっていますので、HTMLを使用する場合には環境設定画面でHTMLに設定を変更する必要があります。但し、HTMLに設定を変更した場合にはActiveXは使用出来ません。また、HTMLを使用する場合には以下の制限があります。
1. 参照、設定可能なプロセスは回覧(宛先インスタンスが一直線に並ぶ形式)と、同報(一つの宛先インスタンスに複数の宛先が設定される形式)のみであり、保存、メール、分離インスタンスを含むプロセスは参照、編集できません。
  2. テンプレートの書類実行時のインスタンス設定にて、“宛先のみ許可する”に設定されている場合は書類画面からプロセス(宛先)の変更ができません。
  3. テンプレートの書類実行時のインスタンス設定にて、“許可する”に設定されており、書類が起案インスタンス以外の位置にある場合は書類画面からプロセスの変更ができません。
- \*3 : Global4.00R02 までは不具合でこの項目は有効になっておらず、全て「サーバーに残す」として処理されていました。